

財 政 状 況 の 公 表

令和 3 年 10 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日



令和**4**年**5**月
宇 城 広 域 連 合

目 次

I 令和4年度当初予算の概要

1	予算編成方針（抜粋）	1
2	予算規模	4
3	一般会計の予算	
	（1）歳入	5
	（2）歳出	7
4	宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算	
	（1）歳入	9
	（2）歳出	9

II 令和3年度下半期の補正予算状況

1	一般会計及び宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の補正状況	10
---	-----------------------------	----

III 令和3年度下半期の予算執行状況

1	一般会計の予算執行状況	11
2	宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算執行状況	12

IV 広域連合債及び一時借入金の状況

1	広域連合債の状況	13
2	一時借入金の状況	14

V 宇城広域連合財産の状況

1	土地、建物及び重要物品	15
2	基金	19

（注）各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は、
合計と合致しないことがあります。

I 令和4年度当初予算の概要

1 予算編成方針（抜粋）

宇城広域連合の財政状況と見通し

本連合の財政状況を見ると、令和2年度一般会計決算において歳入では、消防本部・北消防署耐震改築整備事業や高機能消防指令設備整備事業に伴い、関係市町からの「負担金（対前年度＋2億8千万円）」や新たな借金である「広域連合債（＋15億6千万円）」は増額となったが、汚泥再生処理センター整備事業に係る「国庫支出金（循環型社会形成推進交付金）」は大幅に減額（△5億円）となった。

歳出では、任意に減らすことができない「義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）」が前年度とほぼ同額の16億2千万円となり、全体の29.7%を占めている。常勤職員数の減により人件費は減額となった一方で、汚泥再生処理センター整備事業に係る元金償還の開始に伴う公債費の増額が主な要因である。

また、広域連合債を財源とする消防本部・北消防署耐震改築整備事業（新庁舎建築工事、造成工事）や汚泥再生処理センター整備事業を進めた結果、「普通建設事業費」が前年度に引き続き性質別経費の中で最も高い構成割合（全体の51.6%、＋11億4千万円）となった。

今後は、エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業が本格化することから「普通建設事業費」や「公債費」の大幅な増加が見込まれる。

歳入の約50%を関係市町等からの規約負担金が占めている本連合にとって、急激な予算の変動は市町の財政負担に与える影響が大きいことから、将来に向けてより一層健全な行財政運営を堅持するため、歳出の構造改革に取り組むとともに広域行政のメリットを最大化させていく必要がある。

令和4年度予算編成の基本方針

令和4年度の関係市町財政は、感染症に伴う地域経済の落ち込みがもたらす地方税の大幅な減収、そして一本算定や国勢調査人口の減少が与える普通交付税への影響など、歳入面において非常に厳しい状況が予想される。

一方、歳出面では、急速に進行する高齢化等に伴う社会保障関連経費の充実と、老朽化が進む公共施設の改修・更新費用の増大、激甚化・頻発化する災害に対し防災・減災、国土強靱化を推進するほか、未だ収束が見えない感染症により新たな行財政需要への対応が求められることから、依然として厳しい状況が推察される。

本連合においては、令和2年3月に改定した『宇城ふるさと市町村圏計画』に基づき、着実に宇城管内の広域共同処理業務を行ってきたところである。また、人口減少や職員定数の削減など自治体を取り巻く環境が変化する中で、行政サービスを維持していくための広域連携（広域連合など従来から活用されている「法人型」や事務の代替執行・連携協約など新たな「契約型」がある。）は、地方創生を担う中核的な行政手法として、近年注目を集めている。

各課においては、本計画（期間＝令和2年度～6年度）に掲げられた分野ごとの方針や諸施策を着実に推進することはもとより、限られた財源を最大限有効に活用するため短

期、中長期的な検証を徹底的に行うこととし、「選択と集中」を図ったうえで予算を見積もることとする。

また、本連合が抱える最重要課題には、創意工夫をもって積極的に取り組み、先進自治体等の参考とすべき事例や補助金等の活用を十分検討するとともに、事業効果の維持・向上、並びに行政コストの縮減に努めるものとする。

① 国、県及び関係市町との一体予算

国・県の予算編成の動向が現時点では不透明な状況ではあるが、法令や制度等の情報収集に努め、特に令和４年度の新規事業については、有利な財源を活用して計画的に取り組むこと。

また、規約負担金への影響を意識したうえで、関係市町とより緊密な連携を図り、適切な役割分担のもと機能的に事務処理を進めていくこと。

② 限られた経営資源の有効活用と行政経営の推進

本連合の財政状況を踏まえ、限られた経営資源（人材・資産・財源・情報）で効率的かつ効果的に事業へ取り組むとともに、後年度の財政負担にも配慮して施策の優先順位を明確化させるなど、徹底した施策・事業の重点化を図ること。

また、各部署におかれては、事業の評価（PDCAサイクル）を踏まえて、経営資源を有効に配分し、経営的視点に立って多種多様な課題に対応すること。

③ 『宇城ふるさと市町村圏計画』と連動した予算配分の優先化・重点化

『宇城ふるさと市町村圏計画』における「実施計画」に登載された事業へ優先的に予算の重点配分を行うものとし、『中長期財政計画（「施設・設備投資計画」を含む。）』を考慮したうえで、事業の見直しと資源配分を徹底すること。

特に新規事業については、既存事業との関連・後年度負担・緊急性・必要性・有効性等について十分精査のうえ、類似事業との統合や既存事業の休止による財源組替えを必ず検討すること。

④ 事務事業の見直しと簡素化・効率化

事務事業を処理するにあたっては、最少の経費で最大の効果をあげることが必要であり、現下の財政状況や働き方改革の観点に加え、感染症による環境の変化などに対応するため、既存の事務事業の徹底した見直しが必要である。

このため、既成の概念を捨てた新たな発想（ゼロベース）の下に一層の見直しを行うこととし、事業目的の達成度合、事業効果、経費節約方法等について検討を加え、事業内容や事務量の見直し、他部署や関係市町との連携を一層進めることにより、事務事業の抜本的な再構築を図るものとする。長年の体質の中で「事業をすること」が目的化している傾向があるため、本来の目的を明らかにし、必要な事業であるかを再度検証すること。

⑤ ファシリティマネジメントの推進

複式簿記や発生主義に基づき本連合が作成している財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）において、目的別・施設別に分析評価した結果を踏まえ、維持管理経費の縮減のほか、廃止・統合・多目的化といった方向性についても、関係市町と連携を図りながら検討を行うこと。

また、老朽化が進む連合保有の施設については、令和３年３月に策定した個別施設計画（施設ごとの維持管理・修繕・更新等に係る取組方針を示したもの）を踏まえ、各施設の管理内容を整理し、必要経費を精査すること。

⑤ マイナスシーリングの実施

令和４年度は、関係市町における歳入の減収要因（国勢調査人口の減に伴う普通交付税の減収、感染症による地域経済への影響など）と歳出の増加要因（扶助費や普通建設事業費、感染症対策経費など）、連合決算の経年分析による不用額の状況等を踏まえ、別途総務課長通知によりマイナスシーリング方式を採用するため、引き続き経費節減に取り組むこと。

各課においては、住民満足度の更なる向上を目指し、限られた財源で最大の効果を生み出すよう、予算見積上限額内において、主体的にスクラップ・アンド・ビルドを行い、メリハリのある予算を組み立てるものとする。

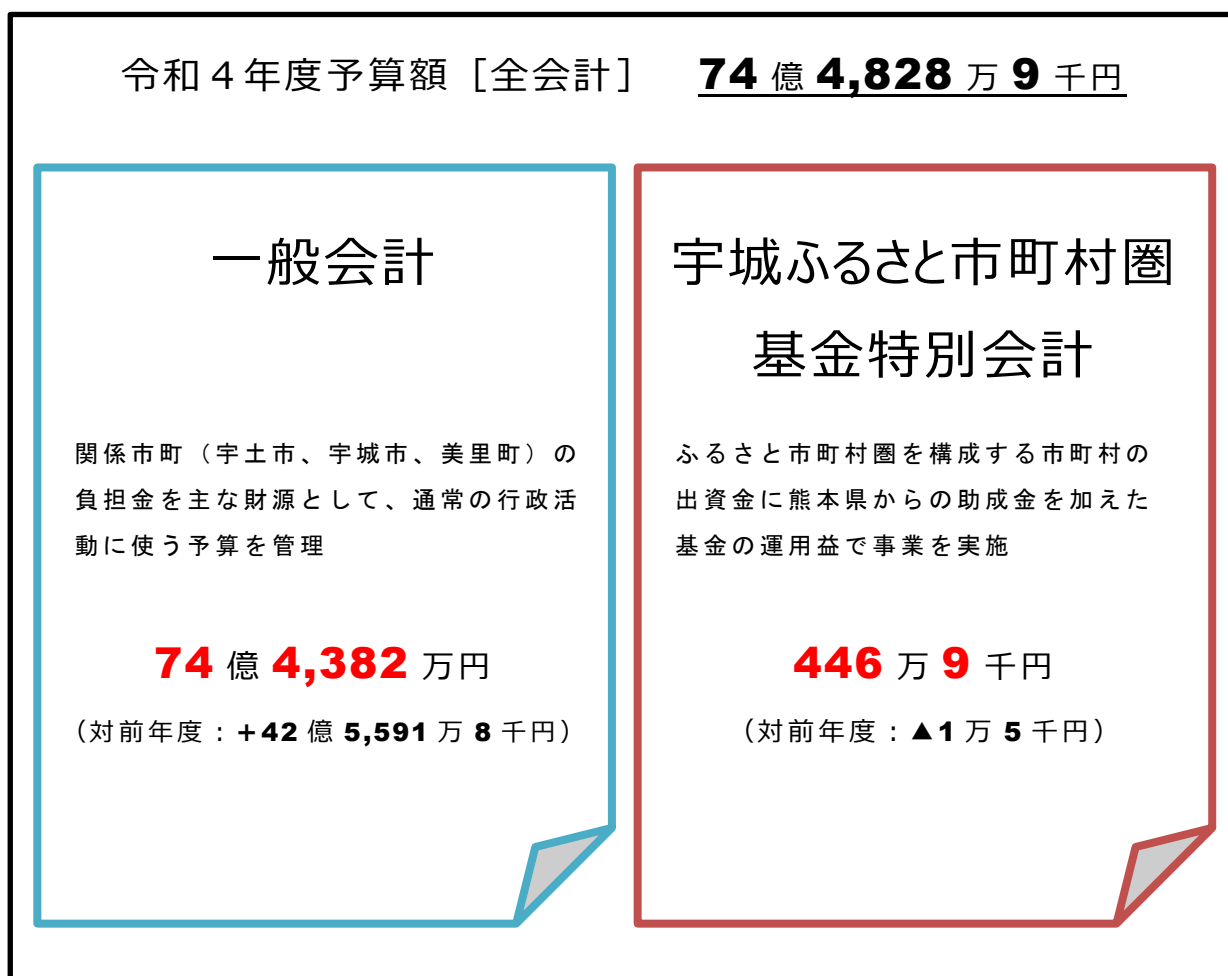
最後に

令和４年度は、本連合の最上位計画である『宇城ふるさと市町村圏計画』の３年目となる。環境の変化に適切に対応し、時には事業の実施方法を見直しながら、本計画に掲げられた施策を着実に推進していく必要がある。そのために、関係市町との協働関係の構築はもとより、局・課横断的な連携を強化し、効率的で実効性の高い行財政運営の実現に向けて、職員一丸となって取り組まなければならない。

2 予算規模

地方自治法第 209 条によると、自治体は 1 つの会計（一般会計）で全ての収支を経理するのが原則ですが、特定の事業を行う場合や特定の収入に基づいた事業を行う場合、その事業に係る経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて特別会計を設置することができます。

本連合においては、以下の 2 つの会計を設けて管理しています。



[会計別予算規模]

(単位：千円、%)

会計区分	令和 4 年度	令和 3 年度	増減額	増減率
一般会計	7,443,820	3,187,902	4,255,918	133.5
宇城ふるさと市町村圏 基金特別会計	4,469	4,484	△ 15	△ 0.3
合 計	7,448,289	3,192,386	4,255,903	133.3

3 一般会計の予算

(1) 歳入

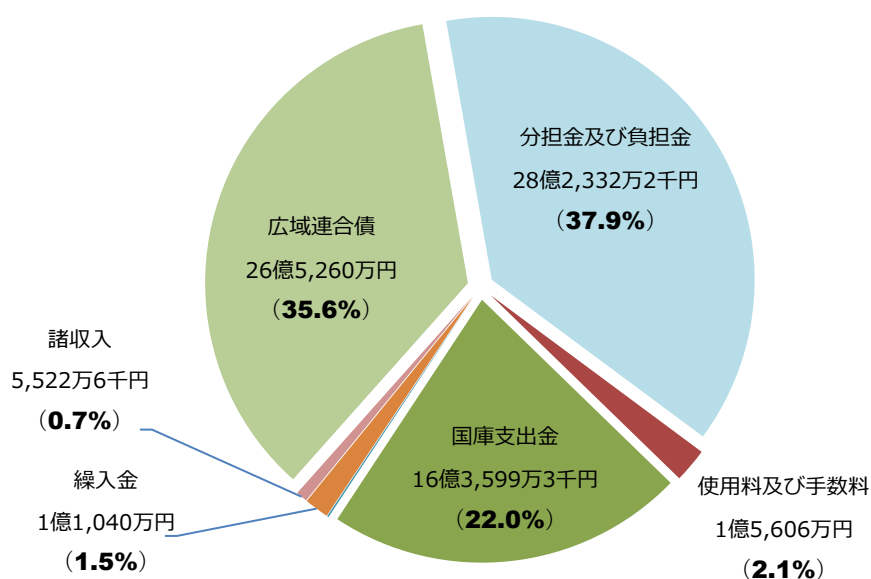
令和4年度一般会計歳入予算の状況を見てみると、令和6年4月に供用開始を予定しているエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る工事費等や消防施設管理事業（高規格救急自動車及び消防ポンプ自動車の更新）の増の影響により、新たな借金である「広域連合債」は大幅な増額となっています。

また、主要建設事業に伴い「国庫支出金」も増額となっています。

[一般会計歳入予算]

(単位：千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比	
1 分担金及び負担金	2,823,322	37.9	2,610,015	81.9	213,307
2 使用料及び手数料	156,060	2.1	157,162	4.9	△ 1,102
3 国庫支出金	1,635,993	22.0	58,987	1.9	1,577,006
4 県支出金	193	0.0	179	0.0	14
5 財産収入	10,025	0.1	5,418	0.2	4,607
6 繰入金	110,400	1.5	11,000	0.3	99,400
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0
8 諸収入	55,226	0.7	67,440	2.2	△ 12,214
9 広域連合債	2,652,600	35.6	277,700	8.7	2,374,900
歳入合計	7,443,820	100.0	3,187,902	100.0	4,255,918



[関係市町等負担金]

(単位：千円)

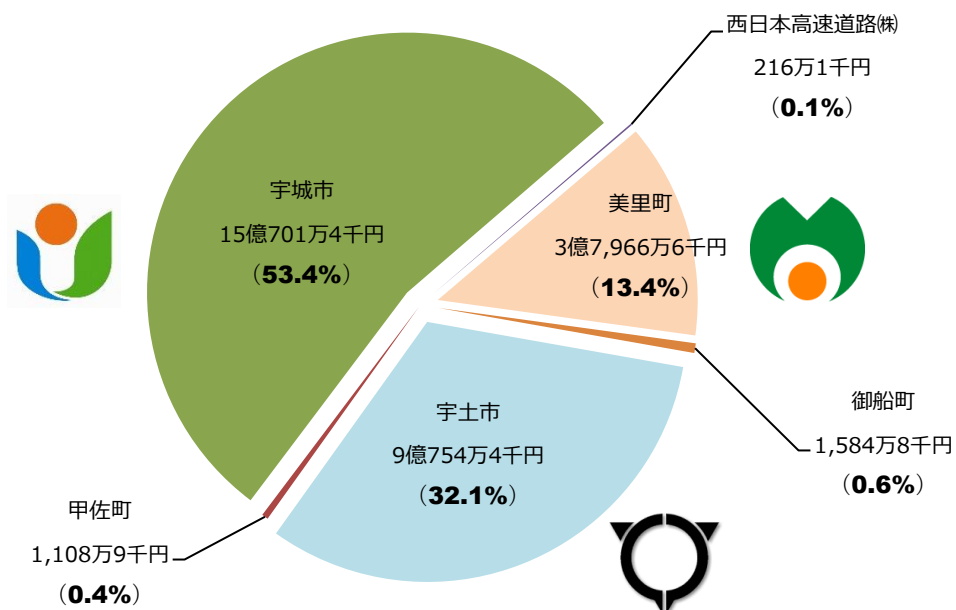
区 分	総 務 費 負 担 金	民 生 費 負 担 金	衛 生 費 負 担 金	消 防 費 負 担 金	合 計
宇 土 市	37,757	11,206	387,132	471,449	907,544
宇 城 市	63,453	19,130	596,679	827,752	1,507,014
美 里 町	17,831	5,364	152,038	204,433	379,666
御船町甲佐町衛生施設組合			26,937		26,937
御 船 町			15,848		15,848
甲 佐 町			11,089		11,089
西日本高速道路(株)				2,161	2,161
合 計	119,041	35,700	1,162,786	1,505,795	2,823,322



関係市町負担金の割合は？・・『宇城広域連合規約』に規定されています。

[負担割合の一例]

区 分	関係市町	負担割合
し尿処理施設管理運営等経費	宇土市・宇城市・美里町	均等割 10%、搬入量割 90%
消防に関する経費	宇土市・宇城市・美里町	関係市町の普通交付税に係る基準 財政需要額のうち、常備消防費に 相当する額を基準として算出



(2) 歳出

歳出はその用途により「目的別」と「性質別」に分けることができます。

① 目的別経費

「どのような目的に使うか」という分類です

(例) ごみ処理など清掃関係に使用する経費は「衛生費」、消防関係に使用する経費は「消防費」など

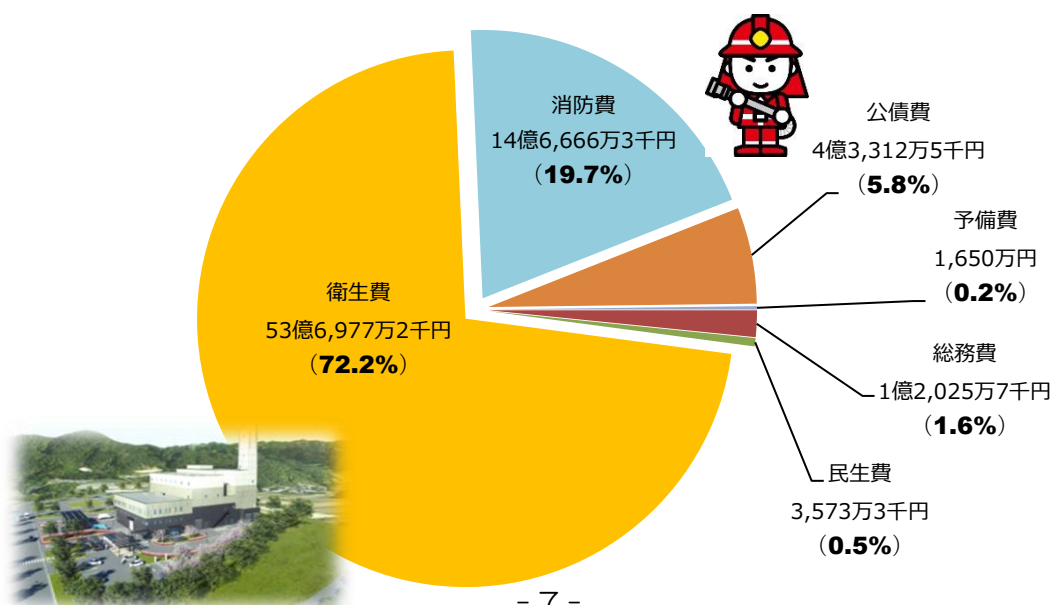
構成割合を見てみると、エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備事業や火葬場管理事業などに係る「衛生費」が72.2%と最も高く、次いで老朽化による網田分署の大規模改修工事や三角分署の消防ポンプ自動車更新など災害に強い安心・安全なまちづくりを推進する「消防費」が19.7%となっています。

また、「公債費」の増額（対前年度+1億2,577万円）は、汚泥再生処理センター整備事業や消防本部・北消防署耐震改築整備事業などの元金償還が始まることが影響しています。

[一般会計当初歳出予算・目的別]

(単位：千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比	
1 議会費	1,770	0.0	1,797	0.1	△ 27
2 総務費	120,257	1.6	131,215	4.1	△ 10,958
3 民生費	35,733	0.5	33,443	1.1	2,290
4 衛生費	5,369,772	72.2	1,248,872	39.2	4,120,900
5 消防費	1,466,663	19.7	1,445,320	45.3	21,343
6 公債費	433,125	5.8	307,355	9.6	125,770
7 予備費	16,500	0.2	19,900	0.6	△ 3,400
歳出合計	7,443,820	100.0	3,187,902	100.0	4,255,918



② 性質別経費

「どのような性質の経費なのか」という分類です

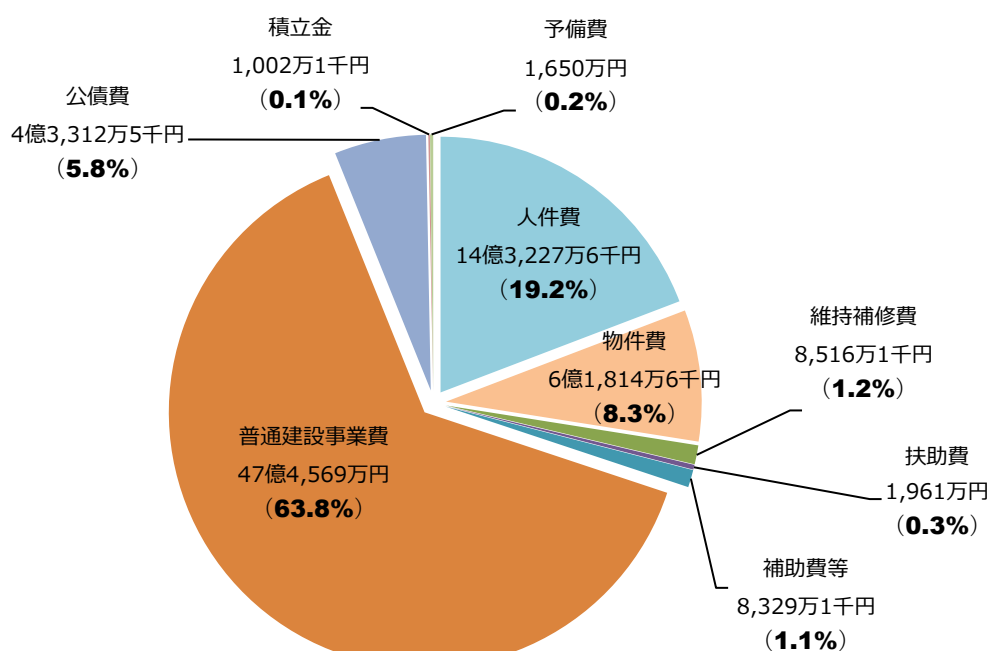
(例) 職員給与などは「人件費」、物品やコピー用紙などの購入費は「物件費」、広域連合債（借金）の返済に要する経費は「公債費」など

構成割合を見てみると、「普通建設事業費」が63.8%と最も高く、昨年度に比べて大幅に増加しています。これは主に宇城クリーンセンターのエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業の工事費によるものです。次いで、連合職員の給料や手当などの人件費が19.2%となっています。公債費が全体に占める割合は低下したものの、対前年度1億2,577万円の増額となっています。

[一般会計当初歳出予算・性質別]

(単位：千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比	
1 人件費	1,432,276	19.2	1,432,463	44.9	△ 187
2 物件費	618,146	8.3	667,745	21.0	△ 49,599
3 維持補修費	85,161	1.2	204,252	6.4	△ 119,091
4 扶助費	19,610	0.3	18,925	0.6	685
5 補助費等	83,291	1.1	85,699	2.7	△ 2,408
6 普通建設事業費	4,745,690	63.8	441,369	13.9	4,304,321
7 公債費	433,125	5.8	307,355	9.6	125,770
8 積立金	10,021	0.1	10,194	0.3	△ 173
9 予備費	16,500	0.2	19,900	0.6	△ 3,400
歳出合計	7,443,820	100.0	3,187,902	100.0	4,255,918



4 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算

(1) 歳入

歳入予算の状況を見てみると、財源の主なものは、ふるさと市町村圏基金の運用益による「財産収入」445万8千円です。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳入予算]

(単位：千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比	
1 財産収入	4,458	99.8	4,462	99.5	△4
2 繰越金	1	0.0	1	0.0	0
3 諸収入	10	0.2	21	0.5	△11
歳入合計	4,469	100.0	4,484	100.0	△15

(2) 歳出

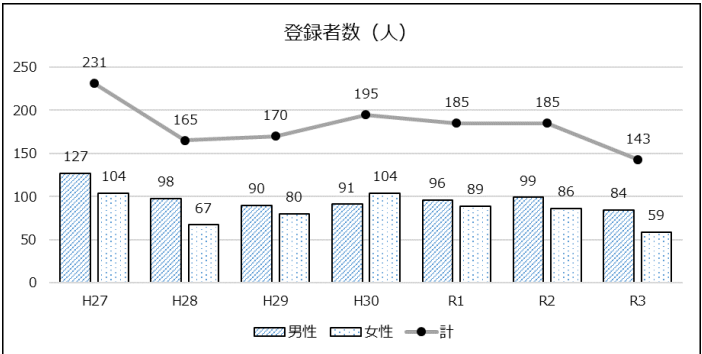
歳出予算の「総務費」においては、例年実施している結婚活動支援事業のみとなっています。

[宇城ふるさと市町村圏基金特別会計歳出予算]

(単位：千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較 (A)-(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比	
1 総務費	4,469	100.0	4,434	98.9	35
2 予備費	0	0.0	50	1.1	△50
歳出合計	4,469	100.0	4,484	100.0	△15

婚活登録者数(人)



婚活活動支援事業
～婚活登録者募集中～

STEP1 会員登録(2年間有効) → STEP2 婚活センターを利用

①写真(縦横サイズ)3枚 ②印鑑 ③本人確認書類(運転免許証等)の写し

④男女ともに結婚を希望する20歳以上の人
⑤婚姻をしていない人
⑥居住地は、岡崎市(宇土市・宇城市・美里町)に住所がある人、または勤務している人
⑦宗教活動、政治活動、営利活動が目的でない人
⑧暴力団関係者ではない人

婚活活動支援センター

利用申込料、相談料、お見合い料、成婚料等の料金は発生しません

婚活活動支援センター
(宇城広域連合事務局2階)

住所 宇城広域連合事務局2階 宇城市松橋町久良 396-2
TEL: 0964-32-4144 / 080-1720-7652 FAX: 0964-32-4152

Ⅱ 令和3年度下半期の補正予算状況

1 一般会計及び宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の補正状況

一般会計

・・・

3回補正 計47億5,294万7千円の増額

補正第2号（+377,102千円）

- 前年度繰越金の確定に伴う関係市町決算剰余返還金の計上
- 消防本部、北消防署耐震改築整備事業に係る外構工事費等の増額

補正第3号（△157,556千円）

- 購入数量の減による環境再生センター施設用薬品費の減額
- 補助対象事業費確定に伴う汚泥再生処理センター建設工事費の減額
- 契約額確定による環境再生センター施設運転管理業務委託料の減額

補正第4号（+4,533,401千円）

- 国補正予算に伴うエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業費の増額

宇城ふるさと市町村圏基金特別会計

・・・

1回補正 計201万6千円の減額

補正第1号（△2,016千円）

- 前年度繰越金の計上
- 上半期の活動自粛（新型コロナウイルスの影響）に伴う相談委員等の謝意金及び広告料の減額
- 契約額確定に伴う観光案内板更新業務委託料の減額

〔一般会計及び特別会計に係る下半期の補正状況〕

（単位：千円）

会計区分	当初予算	9月末 予算現額	10月補正 （一般＝第2号）	12月補正 （一般＝第3号） （特別＝第2号）	3月補正 （一般＝第4号）	最終予算 予算現額
一般会計	3,187,902	3,187,902	377,102	△ 157,556	4,533,401	7,940,849
宇城ふるさと市町村圏 基金特別会計	4,484	8,984	0	△ 2,016	0	6,968
合 計	3,192,386	3,196,886	377,102	△ 159,572	4,533,401	7,947,817

Ⅲ 令和3年度下半期の予算執行状況

1 一般会計の予算執行状況

(1) 歳入 収入率 = **38.6%** (対前年度比△13.2ポイント)

歳入予算科目のうち「国庫支出金」や「広域連合債」は、3月末における収入率が毎年度低い状況となっています。これは、建設事業の実績報告を年度末に実施することが多く、4月から5月の間に収入されるからです。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 収入済額	3月31日現在 収入済額(B)	差引額 (A) - (B)	収入率 (B) / (A)
1 分担金及び負担金	2,512,897	1,747,006	2,512,825	72	100.0
2 使用料及び手数料	154,362	80,554	161,080	△ 6,718	104.4
3 国庫支出金	1,668,680	0	12,225	1,656,455	0.7
4 県支出金	179	0	197	△ 18	110.1
5 財産収入	8,676	4,460	11,065	△ 2,389	127.5
6 繰入金	8,877	0	8,877	0	100.0
7 繰越金	282,338	0	282,338	0	100.0
8 諸収入	67,440	8,354	29,187	38,253	43.3
9 広域連合債	3,237,400	0	49,700	3,187,700	1.5
歳入合計	7,940,849	1,840,374	3,067,494	4,873,355	38.6

※ 上記の金額には、繰越明許費など前年度からの繰越予算は含まれておりません。

(2) 歳出 執行率 = **34.3%** (対前年度比△10.3ポイント)

歳出予算科目のうちエネルギー回収型廃棄物処理施設整備など多額の普通建設事業費を予算化している「衛生費」の執行率が他の科目に比べ低い数値となっています。なお、年度内に事業が完了しない予算残額については、令和4年度への繰越を予定しています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額	3月31日現在 支出済額(B)	予算残額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
1 議会費	1,797	54	243	1,554	13.5
2 総務費	407,352	29,477	343,173	64,179	84.2
3 民生費	29,890	11,608	25,429	4,461	85.1
4 衛生費	5,645,937	253,714	748,101	4,897,836	13.3
5 消防費	1,534,370	606,550	1,299,814	234,556	84.7
6 公債費	305,013	148,828	303,455	1,558	99.5
7 予備費	16,490	0	0	16,490	0.0
歳出合計	7,940,849	1,050,231	2,720,215	5,220,634	34.3

※ 上記の金額には、繰越明許費など前年度からの繰越予算は含まれておりません。

(3) 歳出 [繰越分]

執行率 = **32.9%**

令和2年度の繰越事業に係る主な執行率の内訳は、「汚泥再生処理センター更新事業＝73.8%（支出済額 217,641 千円／予算現額 294,875 千円）」、「消防本部・北消防署耐震改築整備事業＝28.8%（支出済額 300,441 千円／予算現額 1,040,680 千円）」、「高機能消防指令設備整備事業＝0%（支出済額 0 円／予算現額 470,212 千円）」となっています。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額	3月31日現在 支出済額(B)	予算残額 (A)－(B)	執行率 (B)／(A)
4 衛生費	407,811	8,760	330,577	77,234	81.1
5 消防費	1,510,892	83	300,441	1,210,451	19.9
歳出合計	1,918,703	8,843	631,018	1,287,685	32.9

2 宇城ふるさと市町村圏基金特別会計の予算執行状況

(1) 歳入

収入率 = **99.7%** (対前年度比±0 ポイント)

歳入予算については、予算現額のほぼ全額が収入済みとなっています。主な歳入は、平成30年度に開始した債券運用（国債・政府保証債など）に係る利子収入です。

款	予算現額 (A)	9月30日現在 収入済額	3月31日現在 収入済額(B)	差引額 (A)－(B)	収入率 (B)／(A)
1 財産収入	4,462	2,229	4,460	2	100.0
2 繰越金	2,485	0	2,485	0	100.0
3 諸収入	21	0	0	21	0.0
4 繰入金	0	0	0	0	0.0
歳入合計	6,968	2,229	6,945	23	99.7

(2) 歳出

執行率 = **38.7%** (対前年度比△8.7 ポイント)

歳出予算については、結婚活動支援事業に係る相談委員の謝意金（報酬相当分）や観光案内板更新業務委託料を4月に支払うため執行率が低めとなっていますが、最終的には85%程度まで伸びる見込みです。

(単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	9月30日現在 支出済額	3月31日現在 支出済額(B)	予算残額 (A)－(B)	執行率 (B)／(A)
1 総務費	6,918	246	2,697	4,221	39.0
2 予備費	50	0	0	50	0.0
歳出合計	6,968	246	2,697	4,271	38.7

一般会計及び特別会計の収入率・執行率について

令和4年3月31日までに収支原因が発生したものについては、4月1日から5月31日まで出納整理期間が設けられており、令和3年度分の出納事務を行うことができます。よって、収入率と執行率は5月末まで変更することになります。

IV 広域連合債及び一時借入金の状況

1 広域連合債の状況

令和３年度末の広域連合債残高は 55 億 4,917 万円となり、前年度末に比べ 10 億 4,535 万円の大幅な増額となる見込みです。その主な要因は、令和４年８月に供用開始を迎える消防本部・北消防署の耐震改築整備事業や豊野分署改修事業に伴う「消防債」の増加（対前年度＋8 億 9,632 万円）、汚泥再生処理センターの更新やエネルギー回収型廃棄物処理施設整備に伴う「衛生債」の増加（対前年度＋1 億 5,375 万円）です。また、資金の借入先は、財政融資資金が 53.2%と最も高くなっています。

令和５年度までエネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業（衛生債）の大型工事が続き、償還額を上回る新たな借入れを行うこととなるため、広域連合債残高はさらに増加する見込みです。

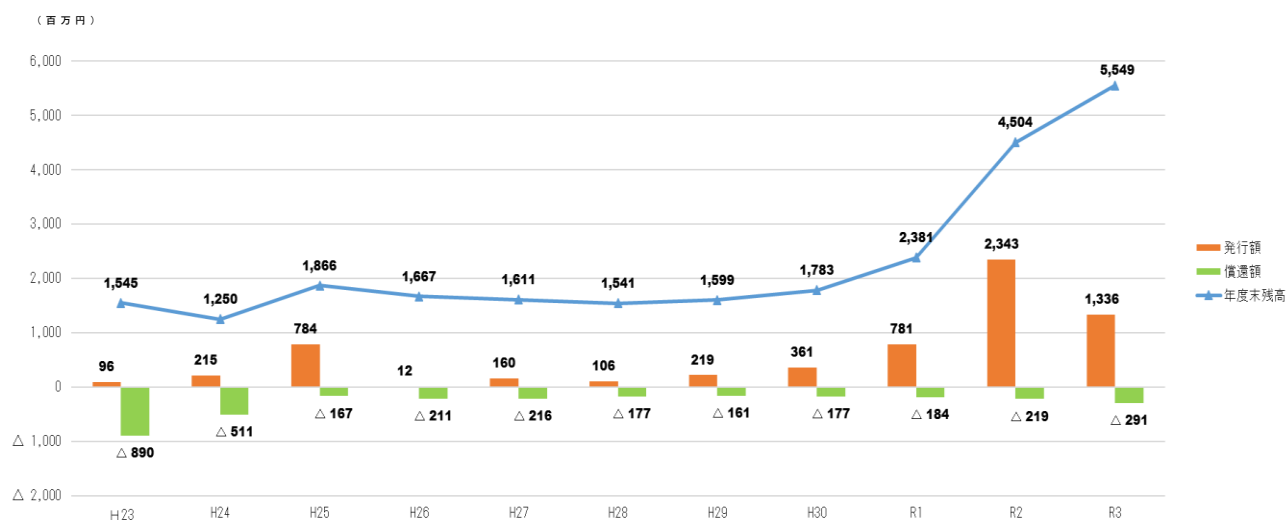
今後も、国の財政措置が有利な地方債を選択するなど、関係市町の将来負担が大きくならないような計画的な借入れが重要となります。

〔目的別広域連合債現在高〕

（単位：千円、％）

区 分	令和２年度末 現在高 (A)	令和３年度中増減〔見込〕		令和３年度末 現在高〔見込〕 (A) + (B) - (C)	構成比
		借入額 (B)	償還元金 (C)		
1 総 務 債	754	0	376	378	0.0
2 民 生 債	0	0	0	0	0.0
3 衛 生 債	3,187,017	322,000	168,251	3,340,766	60.2
龍 燈 苑	207,740	0	40,847	166,893	3.0
寂 静 の 里	0	0	0	0	0.0
宇 土 清 掃 センター	136,635	0	26,231	110,404	2.0
宇 城 クリーンセンター	211,513	185,100	23,298	373,315	6.7
環 境 再 生 センター	2,631,129	136,900	77,875	2,690,154	48.5
4 消 防 債	1,311,327	1,014,000	117,676	2,207,651	39.8
5 災 害 復 旧 債	4,726	0	4,351	375	0.0
事 務 局	75	0	75	0	0.0
龍 燈 苑	100	0	100	0	0.0
寂 静 の 里	150	0	150	0	0.0
宇 土 清 掃 センター	925	0	550	375	0.0
宇 城 クリーンセンター	1,125	0	1,125	0	0.0
環 境 再 生 センター	275	0	275	0	0.0
常 備 消 防	2,076	0	2,076	0	0.0
合 計	4,503,824	1,336,000	290,654	5,549,170	100.0

[広域連合債の発行額及び償還額の状況]



消防本部・北消防署新庁舎イメージパース



環境再生センター

2 一時借入金の状況



一時借入金とは？・・・歳計現金に不足を生じた場合に、その期間の資金繰りのために金融機関などから一時的にお金を借り入れること。

※ 一時借入金の最高額（限度額）は、その年度の予算によって定める

一般会計において、令和4年3月に4億円の借入れを行っていますが、同年5月中に全額を返済する予定です。

(単位：百万円)

会計区分	最高額 (限度額) ※	令和2年度	令和3年度				令和4年 4月末残高
		前年度末残高 (R3.3.31)	令和3年 4月末残高	令和3年5月以降の累計		年度末残高 (R4.3.31)	
				借入額	償還額		
一 般 会 計	2,500	1,400	0	400	0	400	400

※ 一時借入における最高額とは、借入現在高の上限額であり、当該年度中の数回にわたる借入額の累計ではありません。

V 宇城広域連合財産の状況

1 土地、建物及び重要物品

[土 地]

(単位：㎡)

区 分	令和3年9月30日現在	令和4年3月31日現在	増 減	備 考
【 行 政 財 産 】	148,459.63	148,459.63	0.00	
連 合 事 務 局	1,646.03	1,646.03	0.00	
龍 燈 苑 火 葬 場	15,794.00	15,794.00	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	4,403.00	4,403.00	0.00	
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	32,449.95	32,449.95	0.00	
ご み 焼 却 施 設	22,662.95	22,662.95	0.00	
最 終 処 分 場	9,787.00	9,787.00	0.00	
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	75,256.65	75,256.65	0.00	
ご み 処 理 施 設	73,353.65	73,353.65	0.00	
栗 崎 最 終 処 分 場	1,903.00	1,903.00	0.00	
し 尿 処 理 場	9,656.00	9,656.00	0.00	
消 防	9,254.00	9,254.00	0.00	
本 部 ・ 北 消 防 署	9,254.00	9,254.00	0.00	
【 普 通 財 産 】	12,402.22	12,402.22	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	12,402.22	12,402.22	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	3,930.22	3,930.22	0.00	
旧 ご み 処 理 場 跡 地	8,472.00	8,472.00	0.00	
合 計	160,861.85	160,861.85	0.00	

[建 物]

(単位：㎡)

区 分	令和3年9月30日現在	令和4年3月31日現在	増 減	備 考
【 行 政 財 産 】	29,184.71	29,590.60	405.89	
連 合 事 務 局	580.85	580.85	0.00	
本 庁 舎	549.27	549.27	0.00	
倉 庫 ・ 物 置	31.58	31.58	0.00	
龍 燈 苑 火 葬 場	2,224.43	2,224.43	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	1,226.95	1,226.95	0.00	
火 葬 場	1,172.77	1,172.77	0.00	
ポ ン プ 室	6.18	6.18	0.00	
車 庫	48.00	48.00	0.00	
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	3,967.69	3,967.69	0.00	
ご み 焼 却 施 設	3,952.89	3,952.89	0.00	
最 終 処 分 場	14.80	14.80	0.00	
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	9,515.73	9,515.73	0.00	
ご み 処 理 施 設	4,844.63	4,844.63	0.00	
リ サ イ ク ル プ ラ ザ	4,445.13	4,445.13	0.00	
最 終 処 分 場	225.97	225.97	0.00	
し 尿 処 理 場	6,441.69	3,371.56	△ 3,070.13	旧施設解体に伴う減
消 防	5,227.37	8,703.39	3,476.02	
本 部 ・ 北 消 防 署	1,313.46	4,789.48	3,476.02	庁舎新設に伴う増
通 信 指 令 棟	296.11	296.11	0.00	
美 里 分 署	260.25	260.25	0.00	
三 角 分 署	299.79	299.79	0.00	
豊 野 分 署	315.50	315.50	0.00	
網 田 分 署	363.50	363.50	0.00	
小 川 分 署	368.65	368.65	0.00	
南 消 防 署	2,010.11	2,010.11	0.00	
【 普 通 財 産 】	33.12	33.12	0.00	
寂 静 の 里 火 葬 場	33.12	33.12	0.00	
事 務 所	33.12	33.12	0.00	
合 計	29,217.83	29,623.72	405.89	

[物 品]

(単位：台、個)

区 分	令和3年9月30日現在	令和4年3月31日現在	増 減
連 合 事 務 局	4	4	0
普通乗用自動車	1	1	0
軽乗用自動車	1	1	0
軽貨物自動車	1	1	0
ローパーテーション	1	1	0
龍 燈 苑 火 葬 場	1	0	△ 1
火葬炉予備台車	1	0	△ 1
寂 静 の 里 火 葬 場	1	1	0
軽貨物自動車	1	1	0
宇 土 清 掃 セ ン タ ー	5	5	0
エアラインマスク	1	1	0
剪定くず等破砕機	1	1	0
油圧ショベル	1	1	0
カラープリンタ	1	1	0
フロンガス回収機	1	1	0
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー	12	12	0
普通貨物自動車	1	1	0
ダンプトラック	2	2	0
フォークリフト	2	2	0
ユンボ	1	1	0
タイヤショベル	2	2	0
動力草刈機	1	1	0
真空管処理機	1	1	0
エアーシャワー	1	1	0
バキュームクリーナー	1	1	0
環 境 再 生 セ ン タ ー	3	3	0
普通乗用自動車	1	1	0
ダンプトラック	2	2	0
塵芥収集車	0	0	0

[物 品]

(単位：台、個)

区 分	令和3年9月30日現在	令和4年3月31日現在	増 減
消 防	75	74	△ 1
はしご付消防ポンプ自動車	1	1	0
救助工作車	2	2	0
化学消防ポンプ自動車	1	1	0
水槽付消防ポンプ自動車	1	1	0
消防ポンプ自動車	8	8	0
資機材搬送車	3	3	0
高規格救急自動車	10	10	0
査察車	2	2	0
指揮車	1	1	0
指令車	2	2	0
普通乗用自動車	3	3	0
軽貨物自動車	4	4	0
冷暖房器具類	3	3	0
事務機器類	3	3	0
警防資機材類	31	30	△ 1
合 計	101	99	△ 2

2 基 金

(単位：千円)

区 分	令和3年9月30日現在	令和4年3月31日現在	増 減
【 一 般 会 計 】	825,591	826,731	1,140
龍 燈 苑 火 葬 施 設 整 備 基 金	18,724	18,725	1
寂 静 の 里 火 葬 施 設 整 備 基 金	31,733	31,734	1
寂 静 の 里 火 葬 施 設 整 備 基 金 (御 船 町 甲 佐 町 衛 生 施 設 組 合 含 む)	60,020	61,144	1,124
宇 土 清 掃 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	20,562	20,563	1
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	150,275	150,277	2
宇 城 ク リ ー ン セ ン タ ー 施 設 建 設 等 基 金	503,873	503,883	10
環 境 再 生 セ ン タ ー 施 設 整 備 基 金	5,515	5,516	1
消 防 施 設 等 整 備 基 金	34,889	34,889	0
【 特 別 会 計 】	1,018,577	1,020,654	2,077
宇 城 ふ る さ と 市 町 村 圏 基 金	1,018,577	1,020,654	2,077
合 計	1,844,168	1,847,385	3,217

○ 発 行 : 宇城広域連合 総務課 企画財政係

○ 住 所 : 〒869-0532

熊本県宇城市松橋町久具 396 番地 2

○ T E L : 0964-32-4144